

12

つくる責任  
つかう責任

17

パートナーシップで  
目標を達成しようSUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS2022年度  
第2回国際協力入門セミナー

ガラスで繋ぐ

～三田市とパラオの絆～

大洋州パラオ共和国のリサイクルセンターにあるガラス工房での制作過程を映像体験! 廃ガラスを工芸品にすることで循環型社会を目指す、パラオへの自治体の国際協力をご紹介します!

日時

2023年3月17日(金)

19:00～20:30

場所

オンラインZoom  
(手話通訳あり)

定員

250名 ※事前申込制  
※先着順

参加費

無料

申込締切

2023年3月14日(火)

申込方法

URL (<https://forms.office.com/r/aFKJmbrxcM>) または左のQRコードより申込フォームを読み込んで申し込んでください。

フォームが使用できない方はメールに  
①氏名(ふりがな)②電話番号③年齢④属性(職業)を記入し、  
[jicaksic-renkei@jica.go.jp](mailto:jicaksic-renkei@jica.go.jp)  
にメールにてご連絡ください。

後援 兵庫県  
三田市  
関西SDGsプラットフォーム(予定)

共催 独立行政法人国際協力機構関西センター(JICA関西)  
公益財団法人兵庫県国際交流協会(HIA)  
JICA海外ボランティアひょうご応援団  
日本国際連合協会兵庫県本部



# プログラム

18:50	入室受付開始
19:00	<b>開会の挨拶</b> 公益財団法人兵庫県国際交流協会
19:05	<b>第1部 パラオの概要／JICAパラオの事業概要紹介</b>  JICAパラオ事務所企画調査員 佐上 裕俊 JICAパラオ事務所の企画調査員としてパラオで実施されているプロジェクトを担当。 2021年から2年間ベラウ・エコ・グラス事業に担当者として関わっている。 
19:20	<b>第2部 海外協力隊の活躍とベラウ・エコ・グラス・センターでの草の根事業のお話</b>  <b>1. 海外協力隊の活動紹介</b>   コロール州政府廃棄物管理事務所コンサルタント ／知事付経済開発・投資関係特別アドバイザー 藤 勝雄 2004年JICAシニアボランティアとして、パラオ共和国コロール州政府廃棄物管理事務所 に赴任、任期終了と同時にコロール州政府廃棄物管理事務所付のコンサルタントに従事 し現在に至る。2020年春の叙勲「旭日単光章」を受章。  <b>2. ベラウ・エコ・グラス・センターでの草の根事業のお話</b>  <b>● 草の根事業</b> JICA関西市民参加協力課 糸山 大志 1999年国際協力事業団(当時)に入団。以降、パプアニューギニア、ケニアの各事務所 にて勤務。現在は、JICA関西市民参加協力課で、草の根技術協力事業や自治体連携などに 従事。  <b>● 自治体が提案する草の根事業・地域活性化</b> 三田市地域共創部市民協働室参事 横溝 朋之 パラオ共和国コロール州での廃ガラスの有効利用について、2017年のJICA自治体連携 事業から携わる。現在、三田市ガラス工芸館指定管理者NPO法人グラスクラフト協会と実 施するJICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)に市の立場から携わっている。  <b>● ベラウ・エコ・グラス・センターでの事業紹介</b> NPO法人グラスクラフト協会 理事長 三田市ガラス工芸館 館長 元廣 幸雄 1981年芦屋芸術学院グラフィックデザイン科卒後、ノートルダム 工房(京都)、プロアルテ(東京)、シミズSG(京都)を経て三田市ガラ ス工芸館ステンドグラス講師に着任。2011年NPO法人グラスクラ フト協会を設立し現在に至る。 NPO法人グラスクラフト協会 渡邊 行一 1991年東京ガラス工芸研究所卒業後、グラススタジオオカビ開設 (横浜)。能登島ガラス工房講師を経て、現在ベラウ・エコ・グラス ・センターに常勤指導員として従事。  
20:10	<b>質疑応答・まとめ</b>
20:25	<b>閉会の挨拶</b> 独立行政法人国際協力機構 関西センター

## お問合せ

問合せ受付時間(土・日・祝日を除く)  
10:00~12:30/13:15~17:30

セミナー担当：遊川(ゆうかわ)

TEL：080-7397-7521 E-mail：jicaksic-renkei@jica.go.jp